

2007年度第3回理事会（臨時）議事録

期 日：2007年8月13日（月）10:00～12:00

場 所：地質学会事務局

出席者：木村会長，伊藤副会長，佃副会長，渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・倉本・久田・藤本・向山 各理事，高木構造地質部会長・重松，小林構造地質部会事務局員

欠席理事（委任状）：上砂・狩野・公文・斎藤・中山・矢島・宮下

* 成立員数（12/17）に対し，出席者 10名，委任状7名，欠席者 0名で，理事会は成立。

○審議事項

1. 活断層についての緊急夜間集会開催について

・緊急パネルディスカッションを構造地質研究部会とともに実施する事を最終確認した。

・内容の検討（プログラム原稿の検討）

1) 表題：「我が国の防災立地に対する地球科学からの提言」

2) 震源断層についての解説・議論・検証

震研（佐藤），産総研（佃が交渉），地理院（村上？佃が交渉）

3) 被害状況の報告（中越沖地震）（小林）・（防災研：藤本が交渉）

4) パネルディスカッション（司会：高木；佃，伊藤＋京大防災研＋話題提供者）

・情報の使用状況現状

・調査の必要性

・モデルの検証

・従来の問題点と来年度以降の発展方向

・今後の準備の進め方について

21日のプレス発表資料投げ込みに合わせて，本件の原稿を用意する。それまでに，発表者等の依頼を行い，プログラムを確定する。

非会員等の発表者については，依頼講演（旅費負担）を想定する。

2. 見学旅行実施に際しての「安全のしおり」および「車輛運転管理規程（暫定案）」について

・「しおり」および「暫定案」を承認した。なお，自家用車使用の際は，大会準備委員長を責任者とする。

3. 沖縄奨励賞への推薦依頼について

・井龍氏（東北大）を会長推薦することとした。

4. 法人化について

・8月6日に文科省の方針説明を受け，その報告が齊藤法人化委員長からあった。

新法が出来ている現状では，旧法での法人化を進めることはできない。

平成20年12月から新法での法人登録を開始される。

・学会としては従来の方針を大きく変換する必要あり。9月評議員会で報告し，12月評議員会で対策を検討。

○報告事項

1. 会員関係（担当理事 中山）

1) 入会の承認 合計 7名

正会員（5） 土 宏之 渡邊正人 坂口 秀 長谷川智史 有道敏雄
準会員（2） 山口隆久 稲垣貴之

2. アイランドアークの出版社変更について

- ・出版社変更の可能性について情報収集先より問い合わせがあった。Island Arc という雑誌の名称の所有権については、別出版社に移行した場合に継続的に名称を使用できるかどうかという点で重要であるが、現在の契約には明記されていない模様。調整委員会等で確認することとした。

3. 信州大学学生の調査中の遭難について

- ・今回の事故の状況を把握して、学会として共有すべき安全対策等について、検討を行うこととした。

4. 地学オリンピックについて

- ・地学以外の科目でのオリンピック実施が進められている中で、地学オリンピックの実施と日本からの参加については積極的に推し進めることを確認した。

以上

議事録署名人

印

印